

科目名「歯科保健指導論Ⅰ」

学年	学期	科目責任者
1	前学期	岡元 明菜
科目ナンバリング	C-9-⑦-I-19	
単位数	1	
学習目標 (G I O)	対象者（個人・集団）に対して適切な歯科保健指導を行うために必要な基礎知識、特に口腔清掃の必要性・口腔清掃方法を修得する。	
担当教員	*岡元明菜	
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版（株） 『改訂歯ブラシ辞典』 学健書院 『オーラルヘルスケア辞典』 学健書院	
参考図書	最新歯科衛生士教本 『保健生態学 第2版』 医歯薬出版（株） 『歯肉を読む』 クインテッセンス（株）	
評価方法 (E V)	中間試験100点満点(50%)、定期試験100点満点(50%)で合計200点満点(100%)とし、これに授業参加状況等を考慮して総合的に評価する。	
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科衛生士の実務経験を活かし、保健指導に必要な技能および知識を教授する。 質問は授業終了後か教員室へ来てください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	ガイダンス 保健指導の概要 健康の概念	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯科保健指導の法的な位置づけ、意義、必要性を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 歯科保健指導の位置づけを述べることができる。 WHOの健康の定義を述べることができる。 プライマリヘルスケアについて述べることができる。 ヘルスプロモーションについて述べることができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』Ⅰ編1章(45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義	*岡元明菜

<p>第2回 4/13</p>	<p>生活行動と 保健行動</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 自身の日常生活を振り返り、生活習慣の改善について考察する。 【行動目標 (SBOs)】 保健行動の意義を説明することができる。 生活習慣と保健行動を分類することができる。 保健行動への改善策を列記することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編3章① 復習：1日の生活記録を作成する。(プリント配布) (30分) 【アクティブラーニングの有無】 有：ディスカッション (教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』I編1章) 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第3回 4/20</p>	<p>歯・口腔内の 状態把握 (各部の名称と 役割)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 正常な口腔と歯周組織の構成と役割を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 正常な口腔の構成を列記することができる。 歯周組織の構成を列記することができる。 口腔の機能について説明することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』II編1章 (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>歯・口腔内の 状態把握 (口腔内分析)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 健康な歯肉と病的な歯肉の違いを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 健康な歯肉の特徴を列記することができる。 病的な歯肉の特徴を列記することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』II編1章、2章 (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第5回 5/11</p>	<p>口腔内の汚れ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 歯面の付着物、沈着物の種類と特徴を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 歯面の付着物、沈着物を列記することができる。 プラークの成り立ちを説明することができる。 歯石の成り立ちを説明することができる。 歯垢染色剤の用途と役割を説明することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』II編2章 (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】</p>	<p>*岡元明菜</p>

<p>第6回 5/18 第7回 5/25</p>	<p>プラーク・歯石の 指数 歯周疾患の指数</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 各指数の判定基準と計算方法を身に付ける。 【行動目標 (SB0s)】 PCR (O' Leary) 値を計算することができる。 OHIを計算することができる。 OHI-Sを計算することができる。 PIIを計算することができる。 PHPを計算することができる。 PMA Indexを計算することができる。 歯周疾患指数 (PI) を計算することができる。 歯肉炎歯数 (GI) を計算することができる。 地域歯周疾患指数 (CPI) を計算することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置・歯科保健指導』Ⅲ編2章③ (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する (30分)</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第8回 6/1</p>	<p>中間テスト 解説</p>	<p>第1回～第7回の授業内容</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第9回 6/8</p>	<p>口腔内清掃法 講義</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔内清掃の目的、清掃に用いられる道具を理解する。 【行動目標 (SB0s)】 口腔清掃の目的を述べることができる。 歯ブラシの各部の名称を列記することができる。 歯ブラシの種類を列記することができる。 各歯ブラシの特徴を説明することができる。 各種ブラッシング方法の特徴を説明できる。 各種ブラッシング方法を比較することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編3章⑥ (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 事前に購入している指導用歯ブラシを観察しておくこと。 持ち物：指導用歯ブラシ 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第10回 6/15</p>	<p>口腔内清掃法 実習</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 顎模型と人工プラークを用いて各清掃方法で汚れの落ち方を比較する。 【行動目標 (SB0s)】 顎模型上で各ブラッシング方法を実施することができる。 ブラッシング方法に適した歯ブラシを選択することができる。 ブラッシング方法による汚れの落ち方を観察し、比較することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編3章⑥ (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 持ち物：顎模型、人工プラーク、指導用歯ブラシ、ティッシュ、ベンチクロス 【アクティブラーニングの有無】 有：プレゼン、実習 【学習方略 (LS)】</p>	<p>*岡元明菜</p>

<p>第11回 6/22</p>	<p>補助的清掃用具</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 補助的清掃用具について種類と使用目的・方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 補助的清掃用具の種類を列記することができる。 補助的清掃用具の特徴を説明することができる。 補助的清掃用具の適用部位を述べるすることができる。 補助的清掃用具の使用方法を説明することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編3章④⑥ (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第12回 6/29</p>	<p>自身の口腔内の 汚れを測定する</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔内の歯垢染色を安全に行い、PCR値の計算を行う。 【行動目標 (SBOs)】 歯垢染色を安全に実施することができる。 オーラビューを安全に使用することができる。 歯垢染色記録を取ることができる。 PCRの計算を行うことができる。 【準備学習項目・時間】 予習：教科書『歯科予防処置論・歯科保健指導論』Ⅲ編2章②③ (45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 持ち物：コップ、水、吐き出し用カップ、染め出し液、赤鉛筆、歯ブラシ、補助的清掃用具 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*岡元明菜</p>
<p>第13回 7/6</p>	<p>100%磨きに挑戦</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 自身の口腔内に合った清掃方法を考察し実施する。 【行動目標 (SBOs)】 自身の口腔内における問題点を列記することができる。 問題に対する改善策を述べるすることができる。 自身の口腔内に適したブラッシング方法、清掃用具を選択することができる。 自身の口腔内で実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：第9回～第12回までの授業内容を振り返る。(30分) 復習：考察した清掃方法を自身の口腔内で実践し、感想をレポートにまとめる。(30分) 持ち物：手鏡、歯ブラシ 【アクティブラーニングの有無】 有：実習 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*岡元明菜</p>

<p>第14回 7/13 第15回 7/20</p>	<p>症例検討 (歯垢清掃方法を 考察する)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔内状態・生活背景に適したブラッシング方法を検討する。 【行動目標 (SBOs)】 口腔内写真 (症例) から問題点を列記することができる。 問題点に対する改善策を述べるすることができる。 口腔内に適したブラッシング方法、清掃用具を選択することができる。 【準備学習項目・時間】 予習：第9回～第13回までの授業内容を振り返る。(45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 持ち物：補助用具、顎模型 【アクティブラーニングの有無】 有：グループワーク 【学習方略 (LS)】 講義・ブレインストーミング</p>	<p>*岡元明菜</p>
--	------------------------------------	--	--------------